

令和二年度 東国文化自由研究レポート

テーマ

「日本のポンペイと東国文化」

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

2年 2組 23番 野口遥菜

# 【日本のポンペイと東国文化】

動機：小学生の時、火山に関する自由研究をやった。その時に、日本のポンペイとして知られる、古墳時代の榛名山の大噴火を知ったため、今回は、それと東国文化を関連づけて調べてみたいと思った。

調査方法：1、ヴェスヴィオ火山の噴火と榛名山の噴火を調べる。  
2、実際に榛名山の噴火で埋もれた場所を見に行く。  
(その都度、疑問に思ったことは本やインターネットで解決する)  
3、博物館などに行き、展示物などから学ぶ。

## 1、ヴェスヴィオ火山の噴火と榛名山の噴火を調べる。

### ●ヴェスヴィオ火山

紀元 79 年の噴火（古代都市ポンペイを襲った噴火）以前は、標高が 3000m あり、鋭く尖った形をしていたと考えられている。現在は、噴火はしていない。種類は成層火山。  
(現在のヴェスヴィオ火山→)



### 紀元 79 年の噴火について

ヴェスヴィオ火山の噴火の約 17 年前に、古代都市ポンペイを巨大地震が襲った。大きな被害を受けたこの都市は再建作業がされたが、不完全なまま、79 年にヴェスヴィオ火山が大噴火した。その後は、一昼夜にわたり火山灰が降り続け、噴火から約十二時間後に火砕流が発生し、一瞬のうちにポンペイは埋もれてしまった。

### ポンペイで発掘されたもの

- ・硬貨
- ・骨壺
- ・骸骨
- ・墓
- ・壁画
- ・宝飾
- ・剣            など

## ●榛名山

上毛三山の一つ。古墳時代に起きた二度の噴火による軽石や火砕流で、黒井峯遺跡や金井東裏遺跡などを襲った山。ヴェスヴィオ火山と同じく成層火山である。

(現在の榛名山→)



- ・約一五〇〇年前の大噴火について

榛名山の大噴火によって発生した火砕流は時速200kmと推定される速さで周辺のムラを襲った。火砕流によって埋もれてしまった古墳時代の人々のなかに、『甲を着た古墳人』もあり、多くの研究者に衝撃を与えた。(右図)

彼が亡くなる前、何をしようとしていたのか議論になっている。



- ・火山の方を向いて神に祈っていた？
- ・身を守ろうと咄嗟に伏せた？ など

黒井峯遺跡で発掘されたもの (軽石によって、埋まった遺跡)

- ・馬小屋
- ・円形の建物
- ・畠 (はたけ)
- ・土器
- ・五差路 など

金井東裏遺跡から発掘されたもの (火砕流によって埋まった遺跡)

- ・甲を着た古墳人や首飾りの古墳人
- ・馬や人の足跡 → 馬と一緒に逃げようとしたためといわれる。
- ・勾玉
- ・土師器の杯
- ・鹿角製小札 (小さな鉄の短冊をひもで結んで作った鎧) など

☆調査方法1で生じた疑問

- ①火砕流の発生条件はなにか。
- ②古墳人にとっての動物とはどんな存在だったのか。(馬と一緒に逃げようとした痕跡があったため)

#### 疑問①の答え

火砕流の実体は、火山砕屑物と噴出物の火山ガスや水蒸気が混合して流動化したもの。ガスはマグマに含まれていた火山ガスと、火山噴出物中および流走中に取り込んだ空気からなる。温度は、マグマに近い高温のものから 100℃程度まで幅がある。水蒸気噴火とマグマ噴火では水蒸気噴火の方が発生頻度が高い。火砕流は流動現象に対する名称であるため、噴火様式と 1 対 1 に対応するものではないが、火砕流が発生するような噴火には、

- ・流紋岩—デイサイト質マグマの大規模な噴火
  - ・プリニー式噴火
  - ・溶岩ドームの噴火
  - ・水蒸気噴火
- などがある。

#### ※用語

〈火山砕屑物〉火山から噴出された固形物のうち、溶岩以外のものの総称。

〈水蒸気噴火〉火山活動のうち、地下水が熱せられて水蒸気となり噴出する現象。

〈マグマ噴火〉火山活動のうち、マグマを地表に噴出する現象。

〈デイサイト〉火山岩のうち、やや白っぽい石。

〈プリニー式噴火〉この噴火では、個体破片とガスの混合物からなる大規模な噴煙柱が形成される。これが重力に耐え切れなくなると、火砕流となり地表を流れる。ポンペイを埋め尽くしたヴェスヴィオ火山の様式。

#### 疑問②の答え

馬に限らず、いろいろな動物を重宝していたといわれている。その例が犬で、人が犬とともに埋葬されていたり、犬だけのお墓があるという例もある。これは、犬を狩りに使っていたからなどといった理由はあると『犬の考古学』(かみつけの里博物館 2002年)には記されているが、古代人が現代の私たちと同じように、犬をはじめとした動物を愛していたとも考えている。

#### ○調査方法 1 を終えて考えたこと

火山や、それから噴出される軽石や火砕流は、当時の人々にとっても私たちにとっても脅威であるが、同時に様々な恩恵をもたらしてくれる。その脅威から学べることもあるはずなので、そのことを調べてみたいと思う。また、古代人と動物の関係だが、私は彼らがパートナーのような関係を築いていたと考えている。

## 2、実際に榛名山の噴火で埋もれた場所を見に行く。

### ◎黒井峯遺跡

黒井峯遺跡は、群馬県渋川市中郷・北牧にある、古墳時代後期の遺跡。国の史跡に指定されている。

火砕流で覆われた金井遺跡群とは違い、大量の軽石で覆いつくされてしまった。イタリア古代都市ポンペイにならい、「日本のポンペイ」と呼ばれ、国内では唯一無二の遺跡である。



### ◎金井遺跡群

金井東裏遺跡と金井下新田遺跡をあわせて、金井遺跡群という。金井東裏遺跡では、甲を着た古墳人が発掘されたことで有名だが、首飾りをした古墳人や幼児の骨なども見つかった。また、金井下新田遺跡では、火砕流に襲われた馬が見つかり、金井遺跡群の周辺で馬の生産や飼育が行われていたということがわかった。

(金井遺跡群については、道路工事中のため現地に行けなかった)

先ほど記載した甲を着た古墳人について

なぜ、彼は山に背を向けてうずくまっておらず、山の方を向かってうずくまっていたのかの见解を、8月1日(土)に放送された『世界ふしぎ発見!』というテレビ番組に出演した明治大学・若狭徹准教授は次のように話している。

「古代に風土記という文献がありまして。その風土記の中には『崇り神に対して地域の長が鎧を着、鉾を構えて邪悪な神を追い払う』といった記載があるんですね。村人に外をなす崇り神は祀ってもだめならば、武力をもって戦う。というのが古代の王を使命だったんです」

つまり、この甲を着た古墳人は火砕流から村を守ろうとしたのではないかと。若狭准教授はそう考えているようだ。

### ☆2で生じた疑問

③甲を着た古墳人は、どのような人だったのか

### 疑問③の答え

甲を着た古墳人は、甲の内側の腰に提砥(持ち運びできる砥石)と刀子(小型のナイフ)を提げていたが、彼の刀子は大変珍しいものだったため、甲を着た古墳人は身分の高い人だったことがうかがえる。また、この提砥と刀子を一緒に下げる風習は、朝鮮半島南部にあったため、甲を着た古墳人は朝鮮半島に縁がある有力な人だったことがわかる。

### ○調査方法2を終えて、考えたこと

若狭徹准教授の話だと、甲を着た古墳人は王ということになるが、私は彼が、自分には王ではないけれど、村を守るために立ち上がったのではと考えた。火砕流は怖かったはずなのに、自分は逃げず村のために戦おうとした彼はとても勇気のある人だと思う。

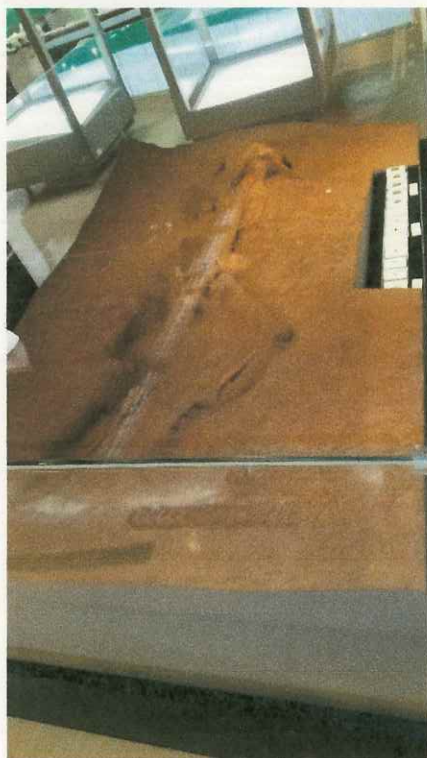
## 3、博物館に行き、展示物などから学ぶ。

### 群馬県立歴史博物館



右上の写真は、金井東裏遺跡で見つかった、甲を着た古墳人(左)と首飾りの古墳人(右)の複顔像である。

埋蔵文化財センター



上段左の写真は、発見当時の甲を着た古墳人のレプリカ。下段左の写真は、発見当時の首飾りの古墳人のレプリカ。

## ◎考察

今回の調査でわかったこととしては

- ・火山は脅威であるとともに、恩恵ももたらしてくれる。
- ・古代、人と動物は現代の私たちのような関係を築いていた。
- ・甲を着た古墳人は身分の高い人だった。
- ・甲を着た古墳人は朝鮮半島と縁のある人だった。
- ・古代の人にとって、自然災害は神の怒りだった。

ということなどだ。

また調査方法1で他の山と比較することで、榛名山の違った見方をすることができた。気づいたことから疑問を見つけ、新たな気づきを発見することにより、考えを発展させることができた。

## ◎感想と今後の課題

このレポート作りがきっかけとなり、郷土の歴史に触れることができとてもよかった。特に、甲を着た古墳人の発見が、世界中が驚く発見だったと知って、驚くと同時に誇らしいと思った。

今後の課題としては、他にも火砕流や軽石で埋まってしまった遺跡はあるのかを今回の調査と関連付けて調べてみたい。火山のことは理科とも関係があるので自然史博物館でくわしく調べてみようと思う。そのことがわかれば、当時の暮らしがもっとよくわかると思うので頑張りたいと思う。

## ◎参考文献

[ja.wikipedia.org/wiki/成層火山](http://ja.wikipedia.org/wiki/成層火山)

[ja.wikipedia.org/wiki/ポンペイ](http://ja.wikipedia.org/wiki/ポンペイ)

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12387174625.html>

[www.afpbb.com/articles/-/3062223](http://www.afpbb.com/articles/-/3062223)

[www.area-best.com/osaka/shiratori/75.html](http://www.area-best.com/osaka/shiratori/75.html)

[mkawa.at.webry.info/201901/article\\_16.html](http://mkawa.at.webry.info/201901/article_16.html)



<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%BB%92%E4%BA%95%E5%B3%AF%E9%81%BA%E8%B7%A1>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%81%AB%E7%A0%95%E6%B5%81>

群馬県埋蔵文化財調査事業団『過去 現在 未来をつなぐ埋蔵文化財 埋文群馬 NO、64』2019年

群馬県『東国文化副読本 ～古代ぐんまを探検しよう～』2019年

かみつけの里博物館『犬の考古学—国内最古の家畜を考える—』2002年

埋蔵文化財センター 令和2年度企画展 「きらめく武具を身に着けて—金井東裏遺跡」